

## 学芸員リカレント教育プログラムを開始

～7月22日に一般公開シンポジウムを開催～

### 【概要】

北海道大学は、**現役のミュージアム学芸員や自治体の文化政策に携わる職員等を主な対象として、企画展制作スキルのリカレント教育**（＝社会人のための学び直し教育）をスタートさせます。講義・実習・実践を通して、最終的に実際の展示制作・運営を目指す3年間のプログラムです。大学院文学研究科を中心に、総合博物館、大学院工学研究院、アイヌ・先住民研究センター、高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）が運営を担い、文化庁の「大学における文化芸術推進事業」の助成を得て実施します。

開講は7月で、現在受講生を募集中です（受講料無料）。開講特別プログラムとして**7月22日（日）に一般公開シンポジウム「いまこそ＜企画力＞企画展制作の立案・運営・評価」**を開催します。

### 【プロジェクト開始に至った経緯】

北海道大学には学芸員資格取得のカリキュラムがあり、毎年、文系・理系を問わず多くの学生が学芸員資格を取得しています。一方で、近年、**ミュージアムのあり方や学芸員の役割が変化し**、日常業務に追われる現役の学芸員等からは、**新しい知識や実践を体系的に学ぶ機会を求める要望**が寄せられていました。

そこで、学芸員の企画展示力を向上させ、新たなミュージアムの可能性を開いていくために、学芸員教育の実績を有する本学で、最前線の話題とスキルを提供するリカレント教育プログラムを企画しました。

### 【内容・意義】

プログラムは、受講生限定プログラムの講義・実習・実践のほかに、一般公開されるイベントから構成されます。全国の最前線で活躍する各分野の講師陣を招き、本学教員と協働して共修・探求型の教育を行います。詳細については、添付のチラシをご参照ください。

このプログラムで学んだ企画展制作スキルを身につけた修了生は、将来、質の高い企画展を数多く実践し、北海道の文化芸術の底上げをしていくことが期待されます。また、プログラムを通じて、受講生同士のネットワークが形成され、ミュージアム横断的な企画が生まれることが期待されます。

### 【開始時期】

2018年7月22日（日）13:00～16:00 開催の一般公開シンポジウム「いまこそ＜企画力＞企画展制作の立案・運営・評価」が、プログラムの開始日となります。

プログラムでは、現在受講生を募集中（受講料無料・6月29日（金）募集締切）です。お問い合わせは、下記「学芸リカプロ事務局」にお寄せください。

**お問い合わせ先**

北海道大学大学院文学研究科 教授 佐々木亨（ささきとおる）

T E L 011-706-4017 F A X 011-706-4017 （学芸リカプロ事務局）

メール recurrent\_hokudai@let.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.let.hokudai.ac.jp/recurrent/about/>

**配信元**

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

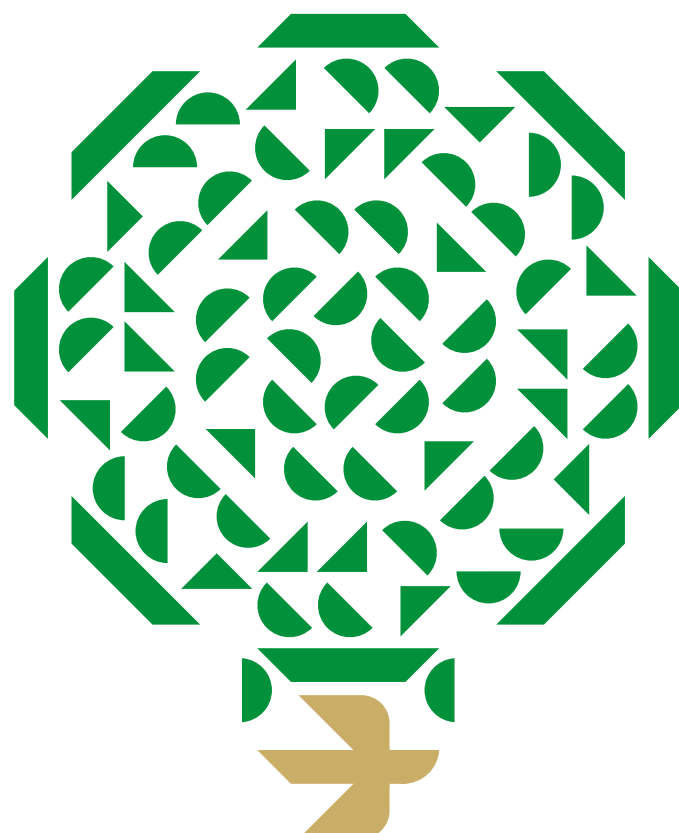
# 北海道大学 学芸員

## リカレント教育

## プログラム



木になり  
鳥になり



いまやミュージアムの存在、

学芸員の役割は、これまで以上に、

社会の様々な方面から、問われ、

期待されるようになりました。

だからいま、

ミュージアムや学芸員とは何であるべきなのか、

の不断の問いかけと

ミュージアムの可能性を開きつづけようとする、

真摯かつ謙虚な姿勢が必要にして

不可欠なことと思われまます。

私たちのプログラム、「学藝リカプロ」は、

その問いかけと姿勢を、学芸員が

ミュージアムの関係者や研究者とともに、

探り求めて行く場として、企画されました。

プログラムでは、各分野の最前線の話題が

展開され、新しいスキルが提示されますが、

講師も受講者も、参加者全員がともに学び探求する

フォーラムなのであって、ここで出会う

ネットワークはそのままミュージアムの

あり方を示すことになると考えています。

2018年7月開講

受講生募集 ● 受講料無料 ●



## ▶ 北大で、学芸員がミュージアムの可能性を開きつづける 企画展制作スキルのリカレント教育プログラム

「学芸リカプロ」は、3年間で企画展制作のスキルを学ぶ、ミュージアム学芸員のためのリカレント教育プログラムです。講義・特論・実習・実践を通して、最終的に、実際の展示制作・運営、および受講生が勤務するミュージアムで実現できる展示企画案の作成をプログラムの成果とします。また、毎年の進捗や成果をシンポジウムや報告会で広く公開します。

### 2018年度カリキュラム・講師

#### ▶ 開講特別プログラム 7月22日(日) 13:00~16:00

##### 公開シンポジウム

「いまこそ〈企画力〉 企画展制作の立案・運営・評価」

北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W103室

富田 章(東京ステーションギャラリー 館長)

高市 純行(毎日新聞社東京本社 美術事業部長)

佐々木 秀彦(東京都歴史文化財団事務局 企画担当課長)

濱崎 加奈子(公益財団法人有斐閣弘道館 館長)

佐々木 亨(北海道大学文学研究科 教授)

#### ▶ 講義1 企画展立案：事例研究

富田 章、高市 純行、濱崎 加奈子

川西 由里(島根県立石見美術館 専門学芸員)

實方 葉子(財団法人泉屋博物館 学芸課長)

#### ▶ 講義2 企画展立案・評価：基本的スキルの修得

岡 岩太郎(岡島光堂社長)、源 由理子(明治大学ガバナンス研究科 教授)

林 伸光(兵庫県立芸術文化センター ゼネラルマネージャー)

酒井 麻里(IAF認定プロフェッショナルファシリテーター)

奥山 大介(認定ファンドレイザー)、日本通運美術品事業部

#### ▶ 講義3 企画展立案：館外パートナーとの協働

田村 達司(日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社)

高橋 渉(株式会社伏見工芸)、圓井 慎一郎(圓井雅選堂)

日比野 和雅(NHKプラネット)

#### ▶ 実習1 企画展立案に向けたコンセプトワークと調査

鈴木 幸人(北海道大学文学研究科 准教授)、佐々木 亨(同 教授)ほか

#### ▶ 特論1 組立和室 × 煎茶のコラボレーションイベント

9月22日(土)

小澤 丈夫(北海道大学工学研究院 教授)、佃 一輝(煎茶一茶庵)

#### ▶ 特論2 装飾するギャラリートークと舞台芸術

アートが紡ぐ古代の物語 8月26日(日)

沢 則行(人形劇師)、加藤 博文(北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授)

岡田 真弓(北海道大学創成研究機構 特任助教)

矢吹 英孝(札幌市こどもの劇場やまびこ座 館長)

さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座

#### ▶ 公開成果報告会 2019年3月9日(土)

※開催日が記載されているものは、一般公開プログラムです。  
※詳細なカリキュラム内容・スケジュールはウェブサイトをご覧ください。

主催：北海道大学大学院文学研究科(プログラム代表：佐々木 亨)

共催：北海道大学総合博物館、同工学研究院、同アイヌ・先住民研究センター、同CoSTEP、同TERRACE

助成：文化庁 平成30年度大学における文化芸術推進事業

「ミュージアム学芸員の企画展制作〈立案・運営・評価〉スキル養成深化プログラム」

### 受講生募集要項

#### ▶ 応募資格

- ・美術館や歴史系博物館等に勤務する現役学芸員、またはギャラリーなどの展示スペースを持つ文化施設に勤務する職員
- ・自治体の文化振興財団等において文化施設の経営に携わる職員、または自治体において文化政策に携わる職員
- ・あらたな職場として上記のような施設を希望する学芸員資格取得者
- ・将来、学芸員や上記職種を目指す大学院生

#### ▶ 定員：20名程度

#### ▶ 受講料：無 料

#### ▶ 応募締切：2018年6月29日(金) 必着

#### ▶ 選考方法：応募者多数の場合は選考します。

#### ▶ 選考結果：メールまたは電話にて 応募者全員に通知します。

#### ▶ 提出書類：

1、履歴書(高校卒業以降の学歴と職歴)

2、小論文(600字程度)

「このプログラムを受講することによって実現したいこと」

#### ▶ 提出先・お問い合わせ：

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

北海道大学大学院文学研究科内

「学芸リカプロ事務局」

E-mail recurrent\_hokudai@let.hokudai.ac.jp

WEB <https://www.let.hokudai.ac.jp/recurrent/about/>

TEL・FAX 011-706-4017

詳しくは  
WEBサイトを  
ご覧ください

